2020年度
（令和2）

認定NPO法人 アルテピアッツァびばい

― 活動報告書 ―
REPORT

認定NPO法人 アルテピアッツァびばい

代表者　理事長　磯田憲一

理事　13名

監事　2名

スタッフ　常勤6名

沿革

平成17(2005)年4月　設立総会
平成17(2005)年8月　NPO法人認証
平成18(2006)年4月　指定管理者制度により美唄市よりアルテピアッツァ美唄の管理運営を受託
平成19(2007)年4月　カフェアルテ、ストゥディオアルテ(体験工房)オープン、運営受託
平成19(2007)年4月　第1回安田侃の「こころを彫る授業」開催。以降、NPOスタッフが担当して毎月開催
平成21(2009)年10月　北海道新聞北のみらい奨励賞受賞
平成22(2010)年1月　平成21年度地域づくり総務大臣表彰受賞
平成22(2010)年4月　アルテ市民ポポロ制度発足
平成25(2013)年2月　北海道地域文化選奨、及び共同通信社地域再生大賞優秀賞　受賞
平成26(2014)年2月　認定NPO法人に認定される
平成30(2018)年1月　第5回エクセレントNPO大賞「市民賞」を受賞
平成31(2019)年1月　認定NPO法人の有効期間更新

彫刻と自然が調和し、炭鉱のまち美唄の時間の集積の上に、新たな時を重ね、訪れた人が静かに自分と向き合える空間。新型コロナウイルスの影響が世界を覆うこの困難な状況にあっても、深く呼吸することのできる場所、硬くなった気持ちが和らぐ場所であり続けたいと願いながら、「アルテづくり」に取り組んでまいりました。

この冬の豪雪は、老朽化した木造校舎、体育館にとって負担が大きく、過酷な自然と向き合う数ヶ月でしたが、多くの人たちの思いが重なる場であることを心に留めて、施設や作品の適切な維持管理に日々つとめてきました。今後、施設の修理、修繕はもとより、作品のメンテナンスについても、設置者の美唄市と協働し、できる限りの対処をしていかなければならないと考えております。

コロナ禍の中、先行きの見えない状況が続いていますが、その先の未来へ、このかけがえのない空間をつなげていくために、感染症対策を可能な限り講じながら、今後ともNPOの運営に励んでまいります。皆様の更なるご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 磯田憲一

＜認定NPO法人への寄附は税制優遇を受けられます＞

認定NPO法人制度とは、＜運営組織及び事業活動が適正であって公益の増進に資する＞として、「認定」を受けたNPO法人を支援する制度です。当法人を含む、認定NPO法人へ寄附をされると税制優遇のメリットがあります。(寄附金、団体会費が税法上の優遇措置の対象になり、アルテ市民ポポロ市民会費は対象になりません)

■認定NPO法人の税制優遇①

個人が認定NPO法人に寄附をした場合・・・

→寄附金控除を受けられます。

寄附者が確定申告することによって、税金の還付を受けることができます。

(寄附金額－2,000円)×※40%=減額

例:(20,000円－2,000円)×40%=7200円の還付

※所得税40%、地方税10%、合計最大50%

■認定NPO法人の税制優遇②

法人が認定NPOに寄附した場合・・・

→損金算入限度額の枠が拡大されます。

■認定NPO法人の税制優遇③

相続人が認定NPOに寄附した場合・・・

→寄附をした相続財産が非課税になります。

＜寄附でのご支援お待ちしております＞

いただいたご寄附は、管理運営のために大切に使わせていただきます。
郵便局に備え付けの「払込取扱票」で寄附が可能です。

郵便振替口座	02740-3-63900
加入者名	特定非営利活動法人アルテピアッツァびばい
※通信欄には「寄附」とご記入下さい。	

4
4/17 安田侃さんが、2020年日本建築学会文化賞を受賞
4/20-5/15 新型コロナウイルス感染拡大により臨時休館
5
5/16-5/24 美唄市民に限り屋外のみ開館
5/25- 通常通り開館
6/1- 屋内施設の利用を美唄市民に限定
6
6/14 第19回「アルテ〇〇の学校」(草)(木) ゲスト: 笠康三郎さん（ライブ配信も実施）
6/19 全面開館
「おうちでカフェアルテセット」販売開始
7
6/26「オリジナルマスキングテープ」販売開始
7/17･18 「ころころキャンドル作り」
7/22-8/17「思い出の炭鉱写真展」
8
8/8「炭鉱映像館」※内容を一部変更
8/13「水の広場」キャンドル点灯（ライブ配信も実施）
9
9/19 B5版 壁掛けカレンダー販売開始
10
10/2 卓上カレンダー販売開始
10/18「秋のポポロウォーキング」
11
11/3「ポポロZoomミーティング」
12
1
2
2/13-21「アーカイブ資料公開」
3
3/27･28「小学生のための『こころを彫る授業』」

○コロナ禍での一年を振り返って

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当 NPOが管理・運営を担っている安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄も美唄市からの指示により全面休館や入館規制などの措置をとりました。日常的な感染対策や密を避けるための工夫など、美唄市と彫刻家の安田侃氏、そして当 NPOとで都度話し合いを重ね、最善と思われる策を講じてきました。特に、アルテピアッツァ美唄の特徴でもある、「彫刻に触れること」をご遠慮いただくことは苦渋の決断でした。

緊急事態宣言が解除になってからは順次開館し、屋外を中心に多くの来訪者があり、感染拡大防止のご案内（ホームページなど）や景観に配慮しながらも可能な限り看板を設置し、対策をとりました。その他、屋外に手洗い場を増設し手洗いの徹底、感染リスクを考え「水の広場」への入水禁止などを来訪者にお願いしました。

移動制限や自粛によりアルテピアッツァ美唄に来られない方のために、当 NPO主催のイベントを一部ライブ配信したり、公式 SNSでの日々の写真や動画の投稿頻度をあげるなどし、おうちでアルテを感じてもらえる様な取り組みを実施しました。ご覧になった方からは、「不安でいっぱいだったが、気持ちが和らいだ」という声をいただきました。

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄がこの先も「心を広げられる場所」として、安心してお越しいただける様、引き続き感染対策に努めます。

アルテピアッツァ美唄を守る

○施設および環境の維持・管理・保全

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館中も、いつもと変わらずに施設や作品、環境の維持管理をしました。

彫刻の保全については、日々屋内外の彫刻の状態を確認し、常に美しい状態を保つよう努めました。その他、大規模なメンテナンスとして、今年度は「水の広場」にある「天聖」「天汞」の修復を行いました。具体的な作業としては、汚れの除去・染み抜きをし、ひび割れや小さな穴ができたところを埋めました。

また、例年通り、4月から11月にかけて月2回、毎回2日間かけて、「水の広場」の流路・池の清掃も行いました。

この冬は例年以上の降雪量でした。落雪の衝撃で建物の窓ガラスが割れたり、雪の重みで木が倒れたり、敷地内で被害が数多く出たため、美唄市と連携をとりながら補修にあたっています。

また、美唄市からの新たな委託業務として、閉園した美唄市立栄幼稚園のあった木造校舎1階とその周辺の施設管理を行いました。

○来訪者やお客様との対応

今年度は1万6000名ほどのお客さまが来訪されました。屋内施設には入らず、広場を散策することを目的に訪れる方も多かったです。

ギャラリー（木造校舎2階）の入口をより広い1階玄関に変更したり、各所に消毒液を配置したり、団体での来訪がある場合は、小グループに分かれていただき、密を避けながらご案内するなど、その都度、感染症対策を行いながら対応しました。また、遠足や課外授業として、美唄市内の保育園や小中学校の利用も多く、市内の子どもたちに、地元の施設としてのアルテピアッツァ美唄について伝える良い機会となりました。

例年、毎週土曜日に実施していましたアルテピアッツァ美唄スタッフによる「定時ガイドツアー」はお客さまとスタッフの安全を最優先し、今年度はすべて中止しました。

○コンサート・イベント・展覧会

アルテピアッツァ美唄のアートスペース（旧体育館）とギャラリー（木造校舎2階）は、貸しスペースとしてご利用いただいています。

今年度、アートスペースでのコンサート・イベントは10件、ギャラリーでの展覧会は15件の利用がありました。予定されていたもののキャンセルも多く、いずれも例年を大きく下回る利用件数でした。また、開催するイベント、展覧会については、その時の状況に応じて、主催者と感染症対策を話し合い、実施しました。

アルテピアッツァ美唄を楽しむ

○体験工房ストゥディオアルテの活用 （「こころを彫る授業」「アルテ○○の学校」など）

毎月第一土日に開催している「こころを彫る授業」も14年目に入りました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、定員を減らしたり、昼食提供を休止したりしながらも開催し、「こころと向き合う」時間を皆さん楽しんでおられました。また、毎春に開催の「小学生のための『こころを彫る授業』」は、人数制限と時間短縮を行い、半日のプログラムで2日間、計4回行いました。石を彫ったり、削ったりする作業を繰り返しながら、皆さん一心に制作に取り組んでいました。

「誰もが参加できる小さな発見の場」というコンセプトのもと、アルテピアッツァ美唄にゆかりのある方をお迎えして不定期に開催している「アルテ○○の学校」は、6月に「草木の学校」を実施しました。今回は、アルテピアッツァ美唄を巡りながら、敷地内にある植物について解説していただきました。また、コロナ禍でアルテピアッツァ美唄に来ることができない方々に向けて、新たな試みとして生配信を行いました。

○アルテ文庫

ギャラリーに設置している、安田侃さんセレクトの書籍が並ぶ「アルテ文庫」。いただいたご寄付より、書籍を購入し、本棚が充実していきます。今年度は新たに3冊増え、全部で249冊の本が並んでいます。

感染症対策で、事務室の椅子を一時撤去するなどしたこともあり、屋内でゆっくりじっくり楽しむことが難しい時期もありました。

○情報発信

思うように来訪が叶わない方も多い中、webメディアを活用した情報発信に力を入れました。春の様子をまとめた動画を作成したり、360°写真を撮影したり、より立体的にアルテピアッツァ美唄を感じていただけるよう、新しい手法を使っての発信を試みました。12月には、雪深いアルテピアッツァ美唄の風景や薪ストーブが灯るカフェの様子を伝える「アルテの冬のライブ中継」を実施すると、録画視聴を含め再生回数300回を超えました。

発行物としては、Arte通信vol.35、36を発行し、ポポロのみなさまへお届けするとともに、来訪者や北海道内外の主要美術館などにも配布しました。

○アーカイブ活動

2月に実施しました「アーカイブ資料公開」では、アルテピアッツァ美唄の重要な要素のひとつである自然（主に樹木）を取り上げました。展示会場の中央に大きな「樹木マップ」を置き、いくつかの樹木をパネル展示した他、時代による地域の植生の変遷がわかるアルテピアッツァ美唄周辺を映した航空写真の展示、安田侃さんが折に触れて語ってきた自然と彫刻に関する言葉をスライドにてご紹介しました。今回、作成した「樹木マップ」は、来訪するみなさまにも共有できるように活用方法を検討しています。また、臨時休館中には、過去の安田侃氏講演会の映像や音声データから文字おこしを行い、文字情報として記録を残すことができました。

○炭山（やま）の記憶

アルテピアッツァ美唄では炭鉱町で過ごした人の故郷として、その記憶や思いを次の世代に語る場として、炭山の歴史を伝える活動をしています。

美唄へ帰省される方の多いお盆に「思い出の炭鉱写真展」を開催、往時の炭鉱地区の白地図を掲示し、思い出を来訪者に記入していただいています。「炭鉱映像館」では市内在住の金沢俊美さんのご協力で往時の貴重な映像を上映することができました。写真や映像から炭鉱町・美唄の中にあった人の営みを多くの方にご覧いただくことができました。8月13日には、先人への感謝の思いを込めて、水の広場にキャンドルを灯しました。（「アルテの盆踊り」は中止）。当日は点灯の様子を生配信いたしました。（YouTubeにてタイトル「夏の夜に灯る光」で配信中）。盆踊りが出来ない中でも、多くの方にお越しいただきました。灯すためのキャンドルも、多くの方に作成を協力していただきました。

炭鉱で栄えた場所を歩く「てくてく美唄炭鉱」は中止いたしました。

○彫刻修復事業

今年度は、安田侃さんの彫刻作品の東川町「意心帰」「帰門」（2014年設置）、北海道知事公館「意心帰」（2002年設置）のメンテナンス等を連携事業として行いました。

東川の「意心帰」では、主に手脂による汚れなどの除去や、欠損部の補修を行い、「帰門」では、主に擦り傷の補修を行いました。また知事公館の「意心帰」では、手脂などの汚れの他、泥や排気ガスによる汚れの除去、欠損部の補修を行いました。どちらの「意心帰」も、作業中にはこちらの様子を伺う子どもたちに出会いました。日頃から遊び相手になっているのでしょう。東川町でも知事公館でも、待ちわびていたかのように綺麗になった大理石作品にさっそく飛びついていました。

○びばい食農アートまちづくり推進協議会

新型コロナウイルス感染症拡大により、美唄の食と農とアートの力を活かしたまちづくりに取組む本協議会の活動も大きく制限された一年となり、美唄駅前のフォレストセンターを拠点とした顔を合わせてのネットワークづくりは断念し、オンラインでの活動が主となりました。協議会ウェブサイト「きこえる」とInstagramではアルテピアッツァ美唄を含めた美唄の写真や記事を掲載し、市外・道外から美唄を訪れることが難しいこの状況下でも美唄を身近に感じていただく機会となるよう心がけました。

なお、本協議会で受けている農林水産省の農山漁村振興交付金は今年度までの交付でしたが、新型コロナウイルスの影響により実施ができなかった一部事業につき、実施期間が2021年度へ延長されたことをご報告いたします。

アルテピアッツァ美唄を未来へつなぐ

○アルテ市民ポポロ活動

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄を未来へ繋ぐための様々な活動しています。そのひとつが、イタリア語で「市民」を意味し、アルテピアッツァ美唄を次世代へ繋いでいく思いを共通項としたコミュニティ「アルテ市民ポポロ」です。

今年度から「美唄ポポロ（美唄在住の方対象）」は、「アルテ市民ポポロ」に統合しました。年会費が変わっても「引き続き、ポポロとして応援しますね」という方が多かったのは、当NPOとしても大変励みになりました。また、例年6月に行われていた「ポポロミーティング」は秋に延期、初めてオンラインで開催し、北海道から九州まで、全国から45名のポポロの方が参加しました。年3回発行している「ポポロだより」には、アルテピアッツァ美唄に来ることのできなかった方々から「アルテの様子を知ることができて嬉しいです」との声を多くいただきました。

	アルテ市民 popolo	団体会員
内　容	アルテピアッツァ美唄を次世代へつないでいく思いを共通項としたコミュニティ。	
会員になると	●アルテ市民証が発行されます。 ●アルテ通信、popoloだよりが届き、アルテの現在（いま）を知ることができます。 ●ポポロミーティングでは意見交換やポポロ同士の交流をすることができます。 ●「こころを彫る授業」を1000円割引（継続参加は200円割引）でうけられます。 ●不定期開催の「安田侃の『こころを彫る授業』」のお知らせが届きます。 ※2020年度市民証	
金　額	●市民会費 ポポロ　3,000円 コポポロ（中学生以下）　500円 ※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。 ※「美唄ポポロ」は2020年3月をもって「ポポロ」に統合しました。	●団体会費 団体会員　一口　30,000円 ※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。

●団体会員

有限会社東オートセンター
いとう写真
株式会社カンディハウス
株式会社カンディハウス札幌
株式会社岸本組
学校法人光塩学園
札幌アルト株式会社
札幌通運株式会社
主治医のような社会保険労務士法人　オフィスオカモト
空知商工信用組合
玉田産業株式会社
宗教法人長延寺
医療法人トルチュ氏家記念こどもクリニック
東戸公認会計士事務所
一般社団法人美唄市医師会
美唄市市議会議員会
株式会社美唄自動車学校
美唄市農業協同組合
手打ちそば美唄匠の会
広瀬建設工業株式会社
北星学園大学
北海道クリーン・システム株式会社
村松法律事務所
メガネの三愛
山口物流株式会社
株式会社雪屋媚山商店
税理士法人TACS
有限会社TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE
他1社

（2021年3月31日現在）

○書籍・グッズ

書籍・グッズなどの販売事業は、アルテを未来へ繋げるための貴重な収入源となっています。

今年度は、要望も多かった「マスキングテープ（白・黒）」を新たに発売しました。安田侃さんによる彫刻デッサンが5種類デザインされています。グッズの中では手頃な価格のため、販売も順調です。その他、毎年好評な壁掛けカレンダーに加え、新たに卓上版も発売しました。卓上カレンダーは、アルテピアッツァ美唄とイタリアで撮影された安田侃さんの彫刻作品が毎月交互に楽しめる作りで、ポストカードとしても使える仕様にしました。壁掛けと卓上版のセットでお買い求めになる方が多かったです。

○カフェアルテの運営

コロナウイルス感染対策としてパーテーションや消毒液の配置、消毒作業の徹底、テラス席の拡張などを実施、お客様が安心して利用できる環境を整えました。

今年度は、例年最もお客様のご利用が多いゴールデンウィークが休業となってしまったため、売り上げ減となってしまいましたが、休業明けには、徐々にお客様が戻ってきてくださいました。また、アルテピアッツァ美唄までなかなか足を運べない方でも自宅でカフェアルテの味とアルテピアッツァ美唄の景色が楽しめる様にと「おうちでカフェアルテセット」を販売したところ、たくさんのご注文をいただきました。贈り物にもしたいと、追加で購入してくださる方もいました。

活動計算書

（2020年4月1日から
2021年3月31日まで）

（単位：円）

科目			金額
Ⅰ．経常収益			
1.受取会費			
ポポロ市民会費収益	1,638,000		
コポポロ市民会費収益	5,500		
会員会費収益	110,000		
団体会費収益	960,000	2,713,500	
2.受取寄附金			
募金箱寄附	1,002,553		
寄附金	2,133,230		
アルテ文庫寄附	50,000	3,185,783	
3.事業収益			
指定管理者事業収益	21,680,550		
工房活用事業収益	627,530		
教育普及事業収益	0		
広報事業収益	165,875		
炭山の記憶事業収益	440,000		
喫茶事業収益	6,818,290		
販売事業収益	2,995,200		
連携事業収益	2,542,155		
アルテ市民popolo事業収益	2,100	35,271,700	
4.その他収益			
受取利息	111		
雑収入	994,070	994,181	
経常収益計			42,165,164
Ⅱ．経常費用			
1.事業費			
(1)人件費	22,239,498		
(2)その他経費	17,232,099		
事業費計		39,471,597	
2.管理費			
(1)人件費	42,971		
(2)その他経費	2,596,212		
管理費計		2,639,183	
経常費用計			42,110,780
税引前当期経常増減額			54,384
法人税等			80,000
当期正味財産増減額			-25,616
前期繰越正味財産額			17,105,254
次期繰越正味財産額			17,079,638

事業費・管理費　内訳

科目	指定管理	工房事業	アルテ文庫	教育普及	広報	アーカイブ	炭山の記憶	喫茶	販売	連携事業	アルテ市民	管理費	合計
（1）人件費													
給与手当	12,284,856	1,051,774			525,883		538,457	4,141,440		1,541,307			20,083,717
福利厚生費	1,376,866	3,154			1,579		1,614	767,943		4,625		42,971	2,198,752
人件費計	13,661,722	1,054,928	0	0	527,462	0	540,071	4,909,383	0	1,545,932	0	42,971	22,282,469
（2）その他経費													
売上原価								1,945,789	1,291,927				3,237,716
業務委託費	3,441,798									94,600		1,359,962	4,896,360
諸謝金	11,137	12,237			14,200		3,300	7,700	6,000	6,670	3,300	8,800	73,344
印刷製本費	84,150	2,000					20,802	14,900	9,000		389,800	573,058	1,093,710
旅費交通費	12,480	2,584			500		3,120		6,240	169,972		15,480	210,376
通信費	231,576	728			18,581	2,070	4,429	151,585	62,650	2,140	279,695	178,304	931,758
消耗品費	819,124	19,324			62,568	7,118	2,361	315,880	19,189	180,059	4,400	189,148	1,619,171
修繕費	305,101							36,300					341,401
水道光熱費	4,731,988							176,088				53,755	4,961,831
地代家賃								120,000				40,000	160,000
賃借料										57,540			57,540
保険料	44,280	3,800									1,460		49,540
諸会費								3,700		6,000		30,000	39,700
研修費												3,000	3,000
慶弔費													0
租税公課	1,004,900	28,300			7,000			213,500	59,400	115,900		930	1,429,930
支払手数料	5,500											99,000	104,500
新聞図書費			12,520									2,505	15,025
広告宣伝費					228,960				36,500				265,460
支払報酬													0
会議費													0
交際費												20,000	20,000
減価償却費							7,333						7,333
雑費		2,220	110		660		110	141,304	66,186	3,660	74,096	22,270	310,616
その他経費計	10,692,034	71,193	12,630	0	332,469	9,188	41,455	3,126,746	1,557,092	636,541	752,751	2,596,212	19,828,311
費用計	24,353,756	1,126,121	12,630	0	859,931	9,188	581,526	8,036,129	1,557,092	2,182,473	752,751	2,639,183	42,110,780

※貸借対照表はホームページでご覧になれます。印刷したものが必要な方は事務局までご連絡ください。

安田侃彫刻美術館

アルテピアッツァ美唄

KAN YASUDA SCULPTURE MUSEUM ARTE PIAZZA BIBAI

安田侃彫刻美術館　アルテピアッツァ美唄はかつて日本有数の炭鉱都市だった美唄市の山間にある野外彫刻美術館です。美術館には地元出身で国際的に知られるイタリア在住の彫刻家、安田侃の大理石やブロンズの作品40点余が展示されています。炭鉱住宅跡に再生された木々茂る山々や清流に囲まれた空間では、四季の移り変わりを満喫できます。

● 開館時間
水曜日～月曜日
午前9時～午後5時
入館無料（任意によるご寄附をお願いしています）

● 閉館日
毎週火曜日・祝日の翌日
（日曜日は除く）
12月31日～1月3日

● 交通
電車 ：JR函館本線利用で札幌より35分、
新千歳空港より80分（札幌で乗り換え）。
美唄駅下車、市民バス東線「アルテピアッツァ美唄」行き乗車。（東明通り経由32分、旭通り経由19分）
車 ：道央自動車道利用で
札幌JCTより35分。
美唄ICより右折、5分。駐車場有り。

● 定時ガイドツアー
アルテピアッツァ美唄をスタッフがご案内します。
日時：毎週土曜日10時～（約30分）　無料
集合：アートスペース（旧体育館）前
※天候等により、予告なしに中止する場合があります。

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄
〒072-0831　北海道美唄市落合町栄町
TEL/FAX 0126-63-3137
URL http://www.artepiazza.jp/

2020(令和2)年度 認定NPO法人アルテピアッツァびばい活動報告書
発　行：**認定NPO法人 アルテピアッツァびばい**
発行日：2021年5月31日
表紙写真：小川重雄